



しょうにん魂⑫ (2学期最終号)

令和7年12月24日(水)
文責: 校長 小林年晴

★ 2学期を振り返って

始業式の8月26日は最高気温が34度もあった暑い日でしたが、終業式の今朝の気温は9度と寒い日となり、夏から冬へと季節が大きく変わった2学期でした。途中、インフルエンザの猛威に襲われて、学級閉鎖を余儀なくされました。予定した行事やイベントは無事実施することができ、ホッと胸をなでおろしているところです。



様々な行事やイベントを
学校HPに公開しております。
是非ご覧ください!

行事も多い2学期でしたが、保護者の方のご支援・ご協力のお陰で、子どもたちにとって大きな成長につながったと感じております。ご家庭でも是非、子どもたちの成長したところを振り返っていただき、褒めてあげてください。

終業式では、自分自身や友だちの良いところ見つけのお話をしました。お家の人の良いところ見つけをしようとも話しておりますので是非、ご家庭で見つけた良いところを聞いてみてください。



★ 「花の苗」いただきました！(12月16日)

四の湯町二区白寿クラブさんから7月に続き、「葉ボタン」「パンジー」など寒さに強い花の苗をいただきました。早速、美化委員会のみんなが苗植えをやってくれました。花を育てることで子どもたちの心の成長につながる素敵な取り組みです。いつもありがとうございます！



【校長の独り言】

別府市出身で、新体操でオリンピックにも出場された田中琴乃さんに来校いただき、5年生が田中さんと一緒に体を動かし、間近でオリンピック選手の演技の迫力を実感した後、「夢」についてお話を聞きました。その中で、私が感銘を受けたお話を共有します。



田中さんは、小学3年生の時に、「オリンピック選手になりたい」という思いを持たれたそうですが、夢としては「オリンピック選手になって家族に笑顔で手を振りたい」ということだったそうです。「●●になりたい」だけでなく「●●になって○○したい」と思うことが大切だとお話ししていました。大きな夢を実現された田中さんの言葉なので、その大切さがより伝わってきました。ご家庭でも、「●●になって何がしたいのかな?」とお話ししてみてください。私もその夢の実現に向けてサポートしていきたいと思います。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。

